「あなたが今手にしている『情報』は正しいと確信できるですか？」と訊かれた時に、どれくらいの人たが自信を持って「はい」と答えるでしょうか？

「正しい」と答えられた人は、何、その確信の根拠は何ですか？」と訊かれた時には、どのように答えるでしょうか？

「自分が現場で見たから（あるいは聞いたから」という場合を除いて、「〇〇に載っていたから」「△△さんが言ってたから」と答えるケースがほとんどではないでしょうか？

さらに、「〇〇に載っていることや△△さんが言っていることが正しいと信じる根拠は何かですか？」と訊かれた場合、みなさんどのように答えますか？「〇〇は国内で一番発行部数の多い新聞（雑誌）だから」「△△さんは有名だから、あるいは「〇〇 (△△さん) はその道の権威だから」と答える方は案外多いのではないでしょうか？

では、「〇〇 (△△さん) が常に正しいことを言う確信はありませんか？」、または、「〇〇 (△△さん) は常に必要なことを言っているという確信はありませんか？」との質問にはどのように答えるでしょうか？おそらく当の〇〇 (△△さん) とは思えない限り「はい」と自信を持って答える人は案外少ないのではないでしょうか？

良い悪いの議論は別にして、私達は自らの生活に直接関わらない事柄については深く突き詰めて考えることなく、「その道の権威の〇〇 (△△さん) の言うこと」を信じてしまう傾向にあります。しかし、このような事柄が回り回って私達の生活に直接の影響を及ぼす結果になることも事実です。そして、少し気をつけて事態を見ることでそのような事態を予防したり、さらに予め対策を行うことで回避できることもあります事実です。

インターネットの普及とブログなどの個人の情報発信手段の発達により、様々な情報源から情報を得やすくなってきています。しかし、それらの情報が共通しているのは、いずれも誰かを媒介として得られる二次情報もしくは三次以上の情報であるということです。そして、そのような情報には発信者の意図に基づく加工が行なわれております。情報の膨大な情報を取り扱うのは大変な労力を要するものであり、そのような労を取って載っている発信者は大いに感謝しなければなりません。しかし、同時に、発信者がどのような意図に基づいて加工をしたのかを認識していないと、偏った認識を得てしまい、行動を誤ることも防がかねません。